

PORT OF **KISARAZU**

2025-2026



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

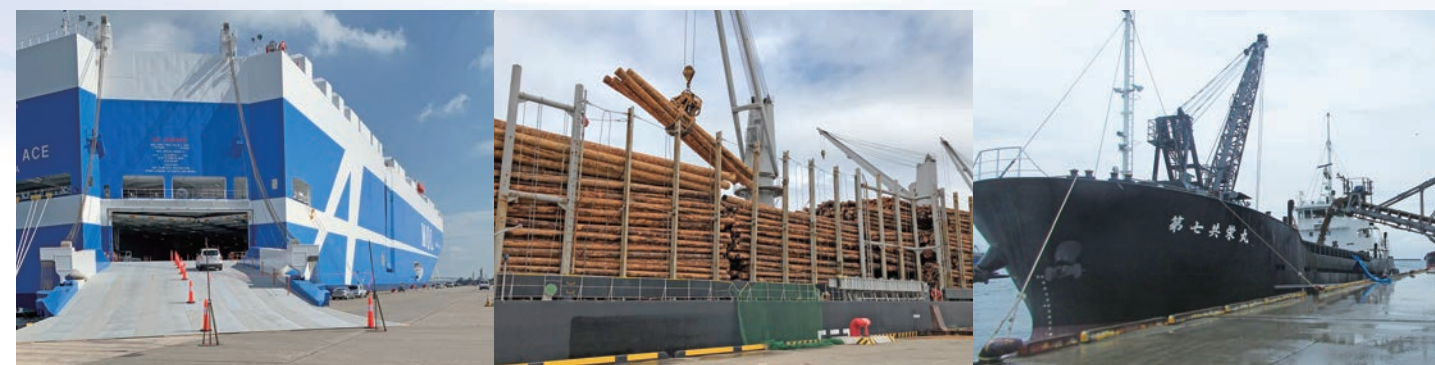
千葉県 県土整備部 港湾課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

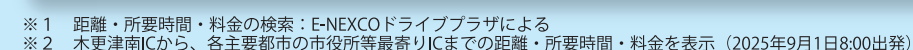
TEL 043-223-3835 FAX 043-227-0928

E-mail : kousin2@mz.pref.chiba.lg.jp

URL <https://www.pref.chiba.lg.jp/kouwan/chibanokouwan/index.html>



木更津港の概要	2
優れたアクセス性	3
特色を持った各地区	4
木更津南部地区	
特色を持った各地区	5
吾妻地区	
特色を持った各地区	6
富津・君津・江川地区	
木更津港長期構想	7
港湾施設使用料	8
データで見る木更津港	10





特色を持った各地区

木更津南部地区 ～物流関連ゾーン～



木更津南部地区は、公共岸壁を中心とした物流拠点として、物流生産・都市機能などが集約されています。

内貿貨物として、県内で産出される砂利・砂を建設用材として関東近県に移出するとともに、他地域からの受入れも行っており、木更津港の主要貨物として地域の経済活動を支えています。

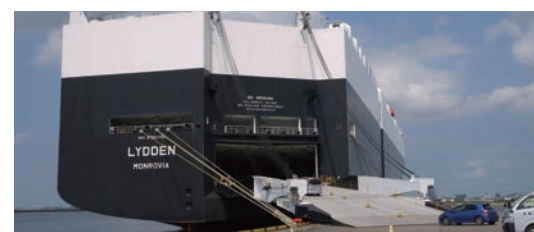
また、外貿貨物に対応するため、平成8年4月には木更津埠頭G岸壁、平成20年3月には木更津埠頭H岸壁を供用開始し、30,000D/W級の船舶が接岸できるよう整備されました。近年では、完成自動車(中古自動車)の輸出が活発であり、ニュージーランドやアフリカなどへの輸出拠点へと成長しつつあります。また、大型クルーズ船の誘致や伊豆大島への高速ジェット船の実証実験など、港を活かした街の活性化の取組も進められています。

●木更津南部地区

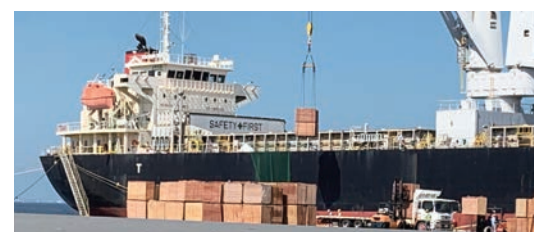
施設名	施設概要				主な取扱貨物(R5)
	延長(m)	所定水深(m)	エブロン幅(m)	対象船舶(D/W)	
木更津埠頭物揚場	362	－ 4.0	10.0	500	砂利・砂
A岸壁	90	－ 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
B岸壁	90	－ 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
C岸壁	90	－ 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
D岸壁	90	－ 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
E岸壁	130	－ 7.5	20.0	5,000	砂利・砂
F岸壁	130	－ 7.5	20.0	5,000	砂利・砂
G岸壁	240	－ 12.0	20.0	30,000	完成自動車
H岸壁	260	－ 12.0	20.0	30,000	完成自動車
潮浜埠頭A・B・C・D岸壁	240	－ 4.5	15.0	700	砂利・砂



砂利・砂の荷役



中古自動車の荷役



木製品の荷役

吾妻地区 ～賑わいと親水ゾーン～



吾妻地区は、木更津港発祥の地で木更津市の海の玄関口であり、中心市街地に隣接する立地条件を活かした地域住民の憩いの場として、緑地を中心としたレクリエーション施設・旅客船埠頭施設・物揚場等の施設整備が計画されています。

吾妻地区にある内港公園は、中心市街地に接する臨海広場で、「みなとオアシス木更津」を構成する施設の1つでもあり、イベント時の交流スペースとして活用されています。

みなとオアシスとは、海浜・旅客ターミナル・広場などみなとの施設やスペースを活用して、住民参加型の継続的な地域振興に関わる取組みが行われる交流拠点のことです。「みなとオアシス木更津」は、平成20年に首都圏初となるみなとオアシスの認定を受けました。

木更津港内港で毎年行われる“木更津港まつり”は多くの見物客で賑わいます。



木更津港まつり花火大会



木更津港吾妻地区



潮干狩りの様子



特色を持った各地区

富津地区 ～エネルギー関連ゾーン～

富津地区は、(株)JERA富津火力発電所や日本製鉄(株)の研究施設などが稼働し、エネルギー供給基地として重要な役割を果たしています。

公共ふ頭では、主に金属製品や鉄鋼、産業機械などの内貿貨物を取り扱われており、F岸壁では、大規模災害時に円滑な緊急物資などの輸送機能を確保するため、耐震強化岸壁が整備されています。

また、地区内には、「富津みなと公園」が整備され、園内には多目的運動広場や展望広場があります。

●富津地区

施設名	施設概要				主な取扱貨物(R5)
	延長(m)	所定水深(m)	エプロン幅(m)	対象船舶(D/W)	
A・B・C・D岸壁	360	－ 5.5	15.0	2,000	金属製品
E岸壁	130	－ 7.5	20.0	5,000	水
F岸壁	130	－ 7.5	20.0	5,000	産業機械
物揚場	857	－ 4.0	10.0	500	－



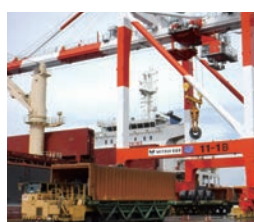
富津みなと公園



君津地区 ～鉄鋼生産ゾーン～

君津地区は、主に日本製鉄(株)東日本製鉄所及びその関連企業の専用岸壁として利用されており、木更津港の取扱貨物量の大半を占めています。

主に、鉄鉱石や石炭がオーストラリアなどから輸入され、鋼材などがメキシコやインドネシアなどへ輸出されています。



日本製鉄(株)東日本製鉄所 君津地区

江川地区 ～漁業生産ゾーン～

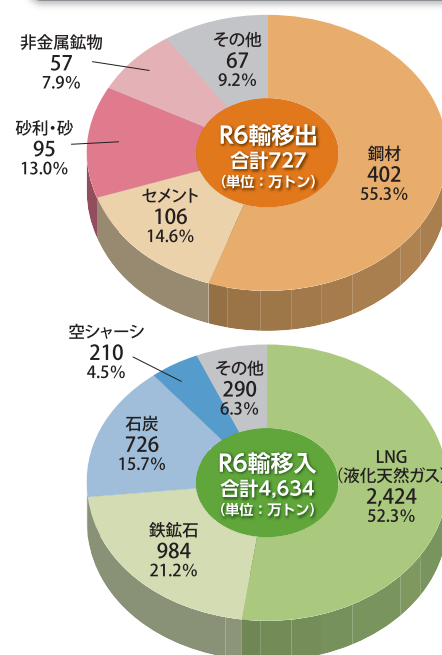
江川海岸は木更津港の最も北寄りに位置した地区であり、全面に広がる浅場・干潟を利用した海苔・あさりの漁業生産基地です。

千葉県では、船の安全な航行の確保を図るべく、航路の維持浚渫等を実施しています。



上空から見る江川地区

富津～君津地区の主な取扱品種



木更津港長期構想



木更津港の現状の問題点・課題を踏まえ、社会情勢や企業活動に伴う貨物動向など木更津港を取り巻く環境の変化に適切に対応していく必要があることから、概ね20～30年後の将来を展望する長期的な指針として、木更津港の将来像やその実現に向けた取組をとりまとめました。

物流関連ゾーン

背後圏の産業・経済・生活を支える物流拠点として、港湾施設及び物流施設を提供する空間であり、主に砂利・砂、完成自動車、将来的なRORO貨物等を扱うゾーンとします。

エネルギー関連ゾーン

電力事業者などエネルギーの生産活動に提供されるゾーンとします。

緑地・交流拠点ゾーン

快適な緑地、親水緑地等の空間で人々が憩い、やすらぎ、楽しむことのできるゾーンとします。

生産関連ゾーン

臨海部に立地する製鉄業などの企業の生産活動に提供されるゾーンとします。

環境保全ゾーン

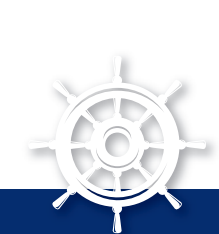
盤洲干潟の貴重な自然環境を保全するゾーンとします。

都市機能ゾーン

商業施設や各種公共施設等が立地し、人々の暮らしの充実に貢献するゾーンとします。



空間利用ゾーニング (木更津港全体)



港湾施設使用料

千葉県港湾管理条例第9条及び第10条に基づく使用料等

Fees for the Use of Port Facilities Usage fees, etc. based on Articles 9 and 10 of the Chiba Prefecture Port Management Ordinance.

名称 Title	区分 Breakdown		単位 Unit	額 Price		
岸壁・ 物揚場使用料 Pier/quay fee	外航船舶 (総トン数5トン未満の 船舶を除く。) Ocean-going vessels (excluding vessels under 5 tons)	係留3時間未満の場合 Anchored under 3 hours	総トン数1トンにつき Per gross ton	2円 ¥2		
		係留3時間以上12時間未満の場合 Anchored between 3-12 hours	総トン数1トンにつき Per gross ton	3円 ¥3		
		係留12時間以上の場合 Anchored over 12 hours	総トン数1トンにつき 24時間までごと Per gross ton up to every 24 hours	4円 ¥4		
	外航船舶以外の船舶 (総トン数5トン未満の 船舶を除く。) Other vessels (excluding vessels under 5 tons)	係留3時間未満の場合 Anchored under 3 hours	総トン数1トンにつき Per gross ton	2円20銭 ¥2.2		
		係留3時間以上12時間未満の場合 Anchored between 3-12 hours	総トン数1トンにつき Per gross ton	3円30銭 ¥3.3		
		係留12時間以上の場合 Anchored over 12 hours	総トン数1トンにつき 24時間までごと Per gross ton up to every 24 hours	4円40銭 ¥4.4		
貨物 Cargo	1.133立方メートルにつき1トン以上の貨物 Cargo over 1 ton per 1.133 cubic meters	1トンにつき Per ton	5円50銭 ¥5.5			
	1.133立方メートルにつき1トン未満の貨物 Cargo under 1 ton per 1.133 cubic meters	1.133立方メートルにつき Per 1.133 cubic meters	5円50銭 ¥5.5			
定係場使用料 Fixed berthing fee			総トン数1トンにつき1月 Per gross ton per month	132円 ¥132		
荷さばき地 使用料 Cargo handling area fee	15日までの期間 Up to 15 days		1平方メートル1日につき Per square meter per day	4円40銭 ¥4.4		
	16日から30日までの期間 16-30 days		1平方メートル1日につき Per square meter per day	8円80銭 ¥8.8		
	30日を超える期間 Over 30 days		1平方メートル1日につき Per square meter per day	14円30銭 ¥14.3		
上屋使用料 Transit shed fee	昭和44年4月1日以降に完成した上屋 Sheds built after 1969	15日までの期間 Up to 15 days	1トンまたは1立方メートル 1日につき Per ton OR cubic meter per day	14円30銭 ¥14.3		
		16日から30日までの期間 16-30 days	1トンまたは1立方メートル 1日につき Per ton OR cubic meter per day	28円60銭 ¥28.6		
		30日を超える期間 Over 30 days	1トンまたは1立方メートル 1日につき Per ton OR cubic meter per day	29円70銭 ¥29.7		
	その他の上屋 Other	15日までの期間 Up to 15 days	1トンまたは1立方メートル 1日につき Per ton OR cubic meter per day	6円60銭 ¥6.6		
		16日から30日までの期間 16-30 days	1トンまたは1立方メートル 1日につき Per ton OR cubic meter per day	11円 ¥11		
		30日を超える期間 Over 30 days	1トンまたは1立方メートル 1日につき Per ton OR cubic meter per day	22円 ¥22		
野積場使用料 Open storage yard fee	舗装されたもの Paved areas		1平方メートル1日につき Per square meter per day	5円50銭 ¥5.5		
	未舗装のもの Unpaved areas		1平方メートル1日につき Per square meter per day	4円40銭 ¥4.4		
接岸給水料 Berthing water supply fee	外航船舶 Ocean-going vessels	勤務時間内 Within working hours	1立方メートルにつき Per cubic meter	580円 ¥580		
		勤務時間外 Outside working hours	1立方メートルにつき Per cubic meter	870円 ¥870		
	外航船舶以外の船舶 Other vessels	自動式給水機以外の給水 施設を使用する場合 Manual water dispensers	1立方メートルにつき Per cubic meter	638円 ¥638		
		勤務時間外 Outside working hours	1立方メートルにつき Per cubic meter	957円 ¥957		
	自動式給水機を使用する場合 Automatic water dispensers		1回(1.033立方メートル)につき Per use (per 1.033 cubic meters)	500円 ¥500		
入港料 Port entry fee	基準料率 Base rate		総トン数1トンにつき Per gross ton	2円75銭 ¥2.75		
	内航船舶の料率 Rate for domestic vessels		総トン数1トンにつき Per gross ton	1円37銭 ¥1.37		
	外航船舶の料率 Rate for ocean-going vessels		総トン数1トンにつき Per gross ton	2円50銭 ¥2.50		
港湾施設用地 占用料 Port facility site occupancy fee	工作物を設置する場合 Workpiece installation	電柱等(支線及び支柱を含む。) Electrical poles		1本1年につき Per pole	1,100円 ¥1,100	
		諸管埋設 Pipe installation	外径20センチメートル未満のもの Under 20 cm in diameter	1メートル1年につき Per meter per year	80円 ¥80	
			外径20センチメートル以上 40センチメートル未満のもの Between 20-40 cm in diameter	1メートル1年につき Per meter per year	160円 ¥160	
			外径40センチメートル以上 1メートル未満のもの Between 40 cm-1 meter in diameter	1メートル1年につき Per meter per year	390円 ¥390	
			外径1メートル以上のもの Over 1 meter in diameter	1メートル1年につき Per meter per year	800円 ¥800	
			広告物等 Advertisements	表示面積1平方メートル1年につき Per square meter of surface area per year	3,420円 ¥3,420	
		その他の工作物 Other workpieces	1平方メートル1月につき Per square meter per month	210円 ¥210		
		上空工作物(電線を除く。) High-altitude workpieces (excluding power lines)	1平方メートル1月につき Per square meter per month	35円 ¥35		
		工作物を設置しない場合 No workpiece installation			1平方メートル1月につき Per square meter per month	160円 ¥160
		電気設備使用料 Electrical equipment fee			100ワット1時間につき Per 100 watts per hour	5円50銭 ¥5.5

- (摘要)
- 外航船舶とは、消費税法施行令(昭和63年政令第360号)第17条第2項第3号に規定する船舶をいう。
 - 使用料の額が1件100円未満の場合は、100円とする。
 - 1時間、1日、1月、1トン、1メートル、1平方メートル又は1立方メートル未満の端数は、それぞれ、1時間、1日、1月、1トン、1メートル、1平方メートル又は1立方メートルとして計算する。
 - 1年を単位とする場合において、1年未満の端数は、月割計算とする。この場合において、1月未満の端数があるときは、1月として計算する。
 - 荷さばき地及び野積場については、初日の使用料は徴収しない。
 - 未舗装の荷さばき地に係る荷さばき地使用料の額は、荷さばき地使用料の項に規定する算定方法により計算して得た額に10分の8を乗じて得た額とする。
 - 上屋使用料は、使用に係る貨物の体積又は重量についてトン単位として計算して得た額及び使用に係る上屋の面積について平方メートル単位として計算して得た額のうちのいずれか大なる額により徴収する。
 - 上屋使用料をトン単位として計算する場合においては、その体積1.133立方メートルにつき1トン未満の重量の貨物にあっては容積トン、その他の貨物にあっては重量トンによる。
 - 入港料を徴収する場合、同一港湾に1日2回以上入港する船舶については、1日1回とみなし徴収する。
 - 入港料を徴収する場合、同一港湾に1月11回(摘要の9.の規定の適用を受ける船舶にあっては、同9.の規定の適用後の入港の回数が11回)以上入港する船舶については、1月10回とみなし徴収する。
 - 港湾施設用地占用料を徴収する場合における電柱等の本数の計算については、支線及び支柱の数を算入する。

- Remarks
- The term 'ocean-going vessel' refers to vessels determined by the Order for the Enforcement of the Corporation Tax Act (Cabinet Order No. 360 of 1988), Article 17, paragraph 2, item 3.
 - In cases where the fee amount is less than ¥100, the fee shall be ¥100.
 - Fractions that are less than one full unit of measurement (hour, day, ton, meter, square meter, or cubic meter) shall be calculated to one full unit of measurement, respectively.
 - When use is calculated on an annual basis, and the period of use is below one year, the fee shall be calculated based on a monthly rate. In such cases, fractions that are less than one month shall be calculated as one month.
 - Fees for cargo handling areas and open storage yards shall not be charged on the first day of use.
 - Fees for unpaved cargo handling areas shall be calculated by multiplying the amount obtained through the calculation method specified in the section on cargo handling area usage fees by eight-tenths.
 - When collecting warehouse usage fees, the fee shall be based on the amount calculated using tons as the unit for the volume or weight of the goods being stored OR the amount calculated using square meters as the unit for the area of the warehouse being used, whichever is greater.
 - When calculating warehouse usage fees based on tons, the following applies: for cargo weighing less than one ton per 1.133 cubic meters of volume, the fee shall be calculated by volume ton; for all other cargo, the fee shall be calculated by weight ton.
 - When collecting port entry fees, vessels entering the same port twice or more in a single day shall be charged at the rate of one entry per day.
 - When collecting port entry fees, vessels entering the same port 11 or more times in a month, or 11 times under the conditions of (9), shall be charged at the rate of 10 entries per month.
 - When calculating the number of electrical poles and other structures for the purpose of collecting port facility site occupancy fees, the number of guy-wires and support poles shall be included.

詳細は、以下サイトをご覧ください。
For details, please refer to the following website.

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kouwan/berth/ryoukin.html>



港湾施設の使用料等の減免制度があります

千葉県では、港湾施設の活用を推進しその振興を図るため、港湾施設の使用料等の減免制度を設けています。

入港料や岸壁・物揚場使用料について、千葉県が定める要件に該当した場合に対象となります。

また、LNGを燃料とする船舶又はLNG燃料を供給する船舶を対象とした入港料の減免制度を新たに実施しております。(令和5年10月1日～令和8年3月31日まで)

詳細については、下記までお問い合わせください。

■Reduction and Exemption Scheme for Port Facility Fees, etc.

Chiba Prefecture has established a reductions and exemptions scheme for port facility fees in order to promote and encourage the use of port facilities.

Reductions are available for port entry fees, quay fees, and landing fees, provided that the applicant meets the requirements set by Chiba Prefecture.

In addition, a new system of reduction or exemption of port entry fees is available for vessels fueled by LNG or vessels that supply LNG fuel, from October 1, 2023 to March 31, 2026.

For details, please contact the following.

●上記に関するお問い合わせ先

千葉県県土整備部港湾課港湾管理班
〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1番1号
E-mail:kousin1@mz.pref.chiba.lg.jp
TEL043-223-3836 FAX043-227-0928

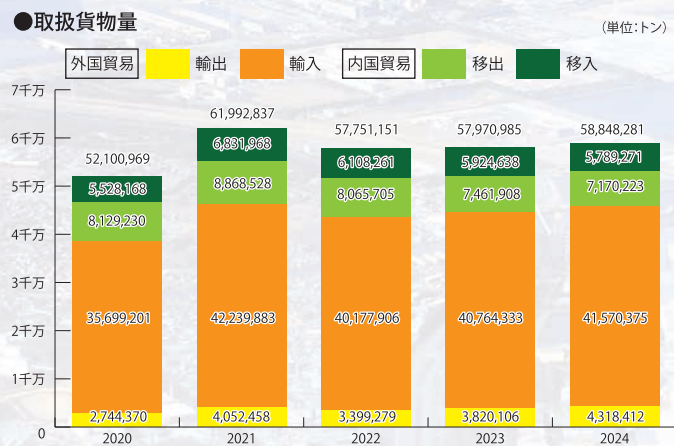
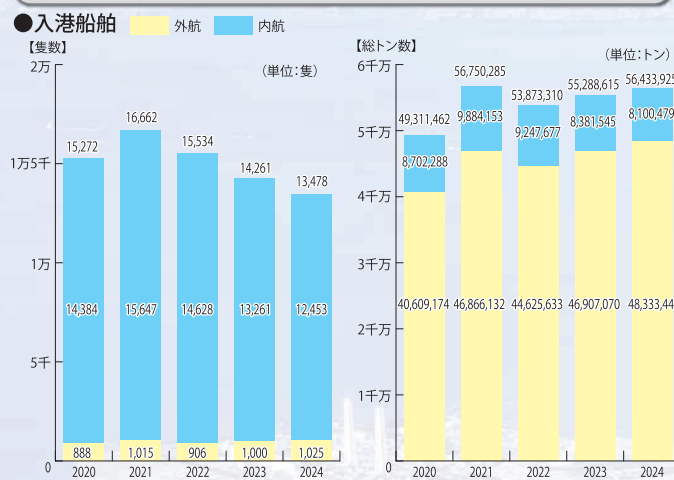
●For inquiries about the above scheme

Port and Harbor Management Section, Port and Harbor Division, Land Development Department, Chiba Prefecture
1-1 Ichiba-cho, Chuo-ku, Chiba City, Chiba Prefecture, 〒260-8667
E-mail : kousin1@mz.pref.chiba.lg.jp

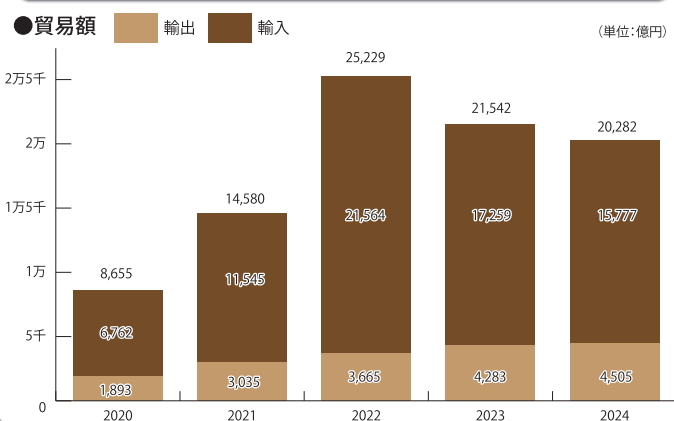


データで見る木更津港

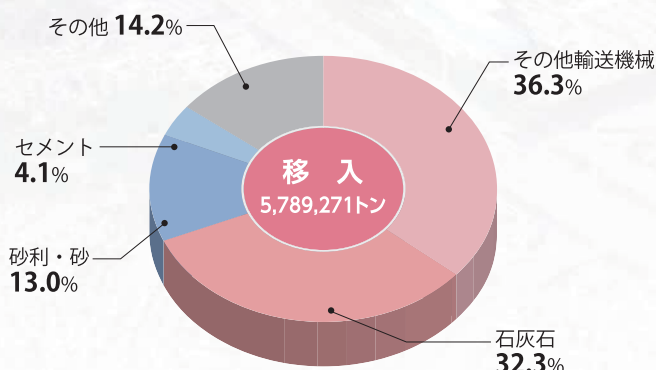
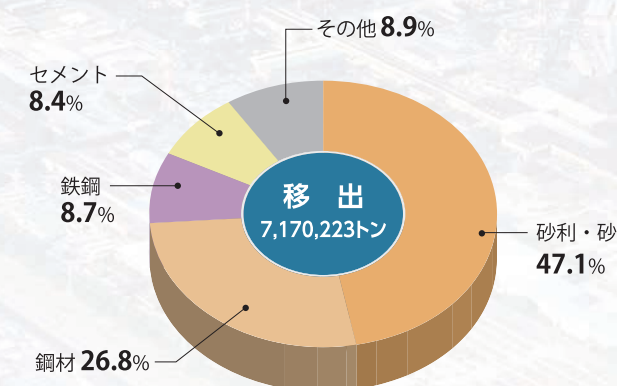
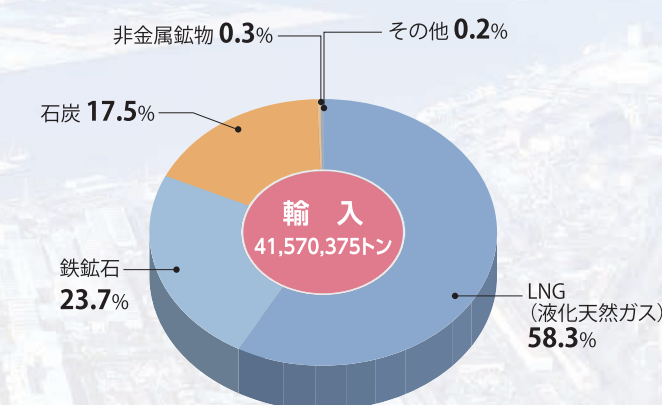
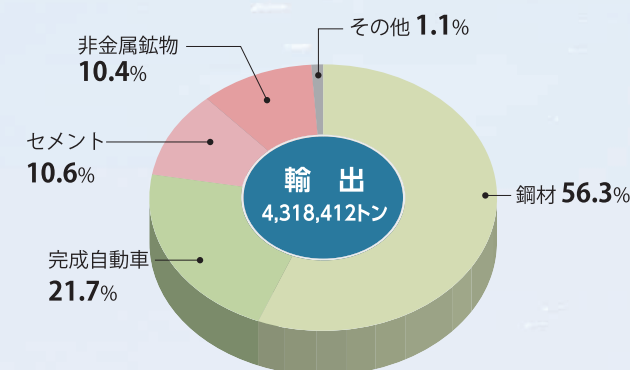
入港船舶・取扱貨物量



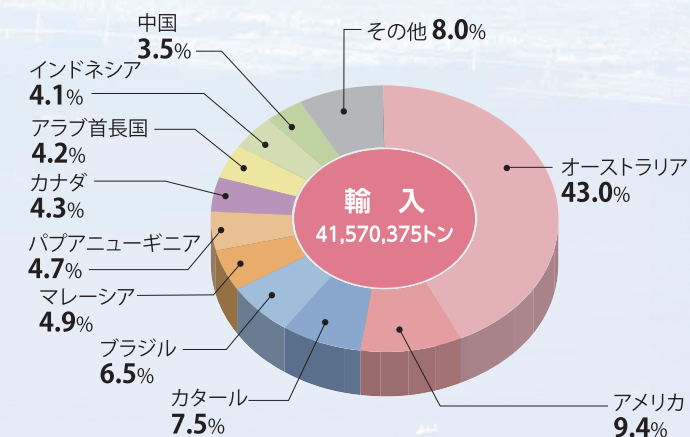
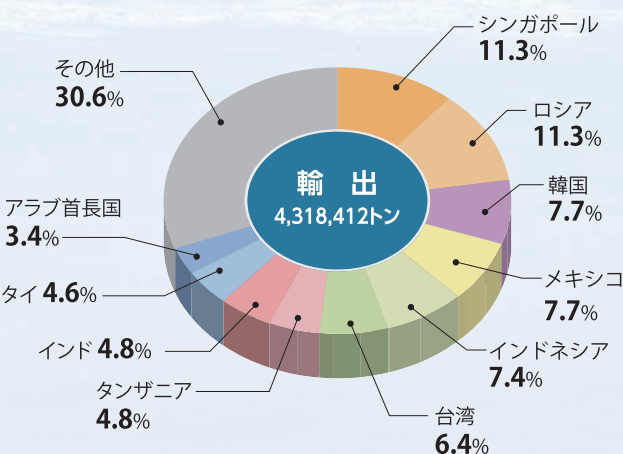
貿易額 年次別比較表



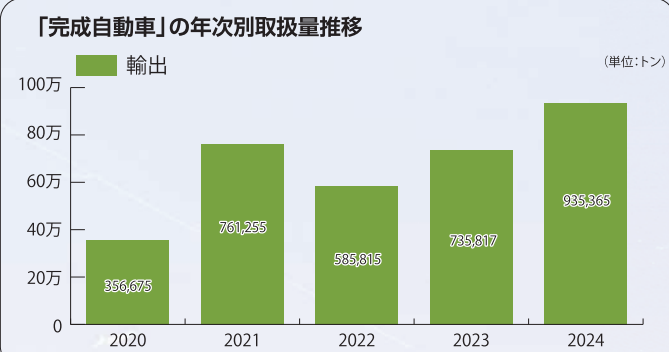
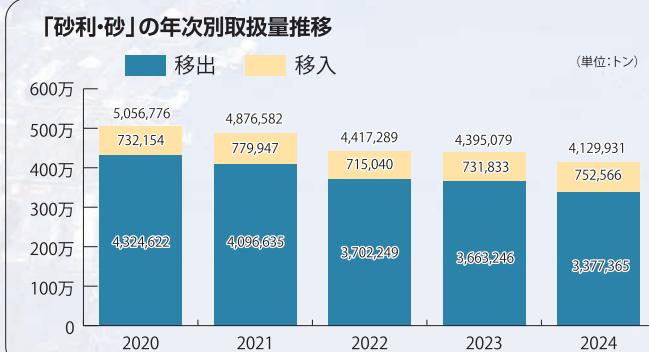
2024年(令和6年) 主な取扱品種



2024年(令和6年) 主な貿易相手国・地域



主要な取扱品目



※本冊子のグラフにおける構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。

出典 ・木更津港の統計データ：千葉県港湾統計年報（令和6年9月公表）より
・貿易額：横浜税関内貿易概況より

木更津港関係官公庁及び諸団体

名 称	住 所	TEL	名 称	住 所	TEL
千葉県県土整備部港湾課	千葉市中央区市場町1-1	043-223-3835	横浜税関千葉税関支署 木更津出張所	木更津市富士見2-4-14 (木更津地方合同庁舎内)	0438-25-6781
千葉県木更津港湾事務所	木更津市貝渕3-13-34	0438-25-5141	木更津港運協会	木更津市桜井1600-4 (港湾労働者福祉センター内)	0438-37-0921
国土交通省関東地方整備局 千葉港湾事務所	千葉市中央区中央港1-11-2	043-243-9172	木更津港湾運送事業協同組合	木更津市桜井1600-4 (港湾労働者福祉センター内)	0438-36-7714
国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局	千葉市美浜区新港198	043-242-7336	千葉県内航海運組合	木更津市桜井1600-4 (港湾労働者福祉センター内)	0438-37-2847
千葉海上保安部	千葉市中央区中央港1-12-2 (千葉港湾合同庁舎内)	043-301-0118	東京湾水先区水先人会 木更津事務所	木更津市新港8-5	0438-36-0700 (本部:045-650-3180)
千葉海上保安部 木更津海上保安署	木更津市新港8-2 (木更津港湾合同庁舎内)	0438-30-0118	(一社)木更津港湾愛護協会	木更津市中央3-3-8	0438-25-1410